

帝キネ 時代映畫

原作並脚色者 田中健三  
監督者 矢内政治  
撮影者 和志田誠

主要役割

南條祐成 近松英三  
父 道成 青木芳美  
津川主水 市川海老三郎  
富山左近 清水隆之輔  
智海法師 林誠太郎  
左近妹真弓 生野初子  
祐成妹早苗 松葉笑子  
情婦 夏枝 若柳みどり

略筋——室町の頃、國に父を殺して立身の必要を描いて京の部に彷徨ふ南條祐成早苗の兄妹はふさした機會から畠山左近の知遇を得、兄は左近の妹真弓の愛を、妹は左近の愛を得るやうになつた。真弓に横戀慕する津川主水は情婦夏枝の嫉妬の争ひから過つて仲裁に入つた左近を介した。嫌疑を受けた祐成は主水の爲め冤罪を被り入牢し、戀人を失つた早苗は哀れにも入水した。

寫眞  
「室町情史」帝キネ矢内政治作品。  
右より市川海老三郎と近松英三郎。



て相果てた。嵐の日！破牢した祐成はかれて敬慕してゐた智海法師を訪れてその教に武士としての道を進むべく誓ひ、主水を襲つたが、多勢に敵せず逃るゝ折、彼の立身の姿を見んと長途の旅に疲れ果てた。臨終を待つばかりの父にめぐり合つた。悲しみ、涙と共に法師の許にかゝられた祐成は復讐の日を待った。一日訪れた血弓と夏枝の言葉は彼にどう響くであらうか。